

8 西蒲区

（1）区の概要

① 地勢

- ・西蒲区は、本市の西部に位置し、面積は176.57km²と市内8区の中で最も広く、市域の約4分の1を占めます。
- ・地形は変化に富み、市内で唯一、海・山・平野を併せ持っています。
- ・周囲とのつながりは、西は日本海に臨む約15kmの海岸線、北は西区、東は南区、南は長岡市、燕市、弥彦村と隣接しています。
- ・区内には、開拓から200年の歴史を有する蒲原平野が広がっています。



② 自然・景観

- ・西蒲区は、豊かな自然環境と観光資源に恵まれており、風光明媚な越後七浦海岸と角田山や多宝山などの山々が一体となった美しい地形は「佐渡弥彦米山国定公園」に指定されています。
- ・こうした山々では、春になると貴重な雪割草やカタクリなどの群生が花を咲かせ、山野草の宝庫として遠方からも観光客が訪れます。
- ・平野部は、信濃川の分流である西川や中之口川が流れ、広大な水田地帯が広がり、稲を天日乾燥させるために使われた「はざ木」の並木がところどころに残る景観は、美しい日本の原風景を思い起こさせてくれます。



（3）人口

- ・今後、市全体で人口減少が著しい中、西蒲区の減少率は市内一（△26.2%）となることが見込まれています。
- ・特に、高齢者人口の割合が上昇し、区内の総人口に占める割合が約5割に達することが推計されています。
- ・年少人口が占める割合も市内一低くなるなどが推計されるなど、少子高齢化が今後ますます顕著になることが予測されています。

■人口の推移・推計

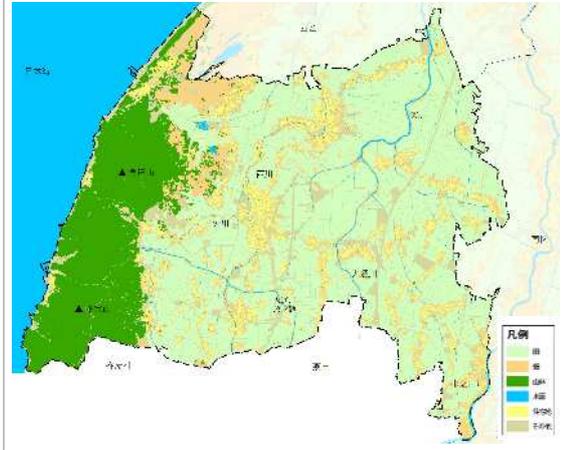


（２）現状と課題

① 土地利用

- ・ 区の約 6 割は、田・畑・樹園地（57%）などの農地として利用されています。
- ・ 山林（19%）は 8 区の中で最も広く、住宅（6%）についても世帯数に比較して広い面積を有しています。
- ・ 区内には 4 つの市街化区域が設定されていますが、区民の半数以上（61%）が市街化調整区域内の既存集落区域に居住しています。
- ・ 優れた自然環境を守り育て、暮らし続けて行ける土地利用の実現が望まれます。

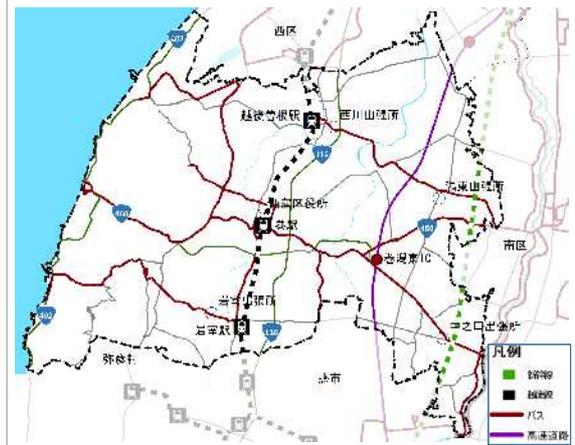
■土地利用現況



② 交通

- ・ 区外に向けた幹線交通は、区の中央を南北に縦断する JR 越後線と、東部を縦断し多数の高速バスが走る北陸自動車があり、交通結節点として巻駅・越後曾根駅・岩室駅の 3 駅と、大規模駐車場を備える巻潟東 IC が重要な役割を果たしています。
- ・ 主要な道路は、区の中央を国道 116 号、海岸線を国道 402 号がそれぞれ南北方向に通り、それらを結ぶ国道 460 号が東西方向に通っています。
- ・ 公共交通の利便性向上や幹線道路の整備による区内交通の充実が求められます。

■交通網



③ 産業

- ・ 西蒲区の基幹産業は農業であり、稲作のほか果樹や、沿岸部の砂丘地帯を中心に多様な園芸作物の生産も盛んです。
- ・ 確かな技術が求められる工業製品の製造を担う多くの事業所や、航空機部品製造の分野で最先端技術を駆使する特徴ある企業が事業を展開しています。
- ・ 恵まれた自然環境や観光資源を活かした観光も重要な産業です。なかでも岩室温泉は、本市唯一の温泉街として県内外から多くの観光客が訪れています。
- ・ 地域の魅力をさらに磨き上げ、優位性の高い産業へと発展させることが求められます。

④ 安心・安全

- ・ 西蒲区には、市街地での浸水害や急傾斜地における土砂災害等が発生する恐れのある箇所が多いことから、災害リスクを考慮した住まい方への工夫が求められます。

（3）区づくりの方向性

< 区の将来像 >

豊かな自然、歴史と文化のかおりに満ちあふれ、人と人があたたかくつながるまち

① 地域拠点の活性化

- ・ 巻駅周辺を地域拠点として機能の充実を図ります。

② 生活拠点の強化

- ・ 岩室、西川、潟東、中之口の各中心部を生活圏の拠点として機能を強化します。

③ 交通ネットワークの形成

- ・ 国道 116 号、国道 460 号の交差点を中心として、海岸側の国道 402 号および今後、整備に取り組む新潟中央環状道路により骨格的な道路ネットワークを形成します。
- ・ 区民生活に必要な公共交通の利便性の向上を図ります。

④ 暮らし続けられるまちの実現

- ・ 住み慣れた地域で暮らし続けて行けるよう、既成市街地における都市機能の維持と田園暮らしの充実に向けた土地利用の展開を図ります。
- ・ 広大な農地の多面的機能の維持向上に努め、基幹産業である農業の振興を図るとともに、商工業の振興・活性化を図り、定住や雇用の創出につながる施策を展開していきます。
- ・ 海や山々が一体となった美しい自然環境の保全に努め、角田や岩室温泉などの交流機能をさらに磨き上げ、本市への観光振興を強化し、交流人口の拡大を図るとともに、移住・定住促進につなげます。

<区づくりの構想図>

